



CAMPUS

Vol. 140

2023 AUTUMN
奈良工業高等専門学校

令和5年11月発行

〒639-1080 奈良県大和郡山市矢田町22
奈良工業高等専門学校 広報センター
TEL. 0743-55-6034 (CAMPUS担当)
ホームページ <https://www.nara-k.ac.jp>
メールアドレス gakusei@jimu.nara-k.ac.jp

第57回高専祭



速報! 第60回近畿地区高専体育大会ラグビーフットボールの部 **優勝!**



C contents

巻頭言	02	グローバル教育センターから	08
新入生の声	03	しなやかエンジニア教育プログラム	09
奈良高専での生活	04	学生支援センターから	
学生の活躍 全国大会出場報告など	05	Library News	10
学生会新役員紹介・活動方針	07		
クラブ・同好会紹介(水泳部 吹奏楽部)			

I information

- ☆高専祭について
- ☆学生課窓口のご案内
- ☆キャンパスメンバーズ制度



奈良高専公式HP



奈良高専公式X (旧Twitter)



近藤 科江

校長

2023年4月に校長に着任しました。2代連続での女性校長は高専初です。「一期一会」奈良高専の皆さんに巡り合ったことを大切にして、女性ならではの視点から、本校の良いところをもっと伸ばし、時代の流れに合わせて変えるべきところは変えて、学生が将来に希望をもって生き生きと学び、のびのびと活動できる「より良い教育研究環境作り」に努めてまいります。

私は、この3月までは東京工業大学で、2010年3月までは京都大学で、工学の技術や材料を医療に応用する医工連携研究に従事し、がんの診断や治療のための薬剤・技術・機器を開発してきました。女性研究者が少ない中で「部局初の女性教授」「大学初の女性部局長」などなど、これまで多くの「初」を経験し、「挑戦」の連続でした。奈良高専校長も、新たな「挑戦」として、これまでの経験を活かして取り組んでいきます。

高専教育に学ぶ

半世紀近く大学で学び、教育研究に従事してきた私にとって、高専との接点は、東京工業大学の研究室に配属された高専編入生や、大学院に入学してくる高専生でした。いずれの学生も、高い基礎学力を持ち、研究に向き合う姿勢も実験アプローチもしっかりしており、高専生を受け入れた大学研究室では「高専生歓迎」のコールが止みません。大学でも教育研究には懸命に取り組んでいますが、高専生は大学生と成績も遜色なく、時には、それを上回る研究力を発揮しており、高専教育の素晴らしさを実感してきました。

高専は、大学と並ぶ高等教育機関であり、中学卒業後の15歳から5年間一貫して教育するシステムで、専攻科を含めると7年間教育を実践しています。1年生から「ものづくり」を体験しながら、高校で学ぶ一般教科に加えて、専門知識も学習するため、高校生より大変ですが、大学入試勉強を経験することなく、研究がメインのカリキュラムに進みます。高専教育を効果的にしている鍵は、カリキュラムへの教職員の真摯な取組にあると思われます。早期から学生自ら考え、アイデアを形にする機会をたくさん用意すること

で、自発性や独創性が自然と生まれ、新たな発見・創造することの難しさと、それを乗り越える喜びなど「研究の醍醐味」を体得させたうえで研究に進むという理想的な道筋ができてるように思います。大学教育が学ぶべき要素が、高専教育の中にたくさんあると感じています。

高専に時代が求めるもの

昨今の科学技術の進歩は凄まじいものがあり、高専生に求められる能力や知識も変遷しています。不変的に重要な基盤技術や知識を身につけながら、最新機器・技術に対応するための知識や応用力を効率良く修得する必要があります。日本が世界トップクラスの科学技術先進国として活躍するためには、多様性を受け入れ、誰もが持てる能力を十分に発揮できる環境整備が急務です。早期から理工系人材を育成する高専が、いち早く多様性を広げることで、女性や外国人が少ない理工系企業が多様性を推進する効果が期待できます。また、新たな価値を見出し、イノベーションを起こす人材があらゆる分野で求められており、その人材育成の場として高専が注目されています。高専は、修得した知識や技術を活かす展開力や実行力、開発したものを社会に展開するための基礎知識や情報発信力に加えて、世界に展開するための英語力や国際的コミュニケーション力など、多様な能力を早期から身につける機会に恵まれているのです。

奈良高専生への期待

高専に進学する中学生は1%不足です。高専を選んだ学生は、早期から「ものづくり」に興味があり、将来なりたい自分を描いているといえます。この「選ばれし学生」が、日本の未来を変える力を持っていることを、ぜひ知って頂きたい。高専生は小さい集団だからこそ、お互いを高め合い、より高みを目指し成長する「チーム活動」がやり易いし、挑戦する機会が得られ易いのです。皆さんは、個々に優れた能力を持っています。「自分には優れたところは無い」と思っている人でも、未開拓な能力が沢山隠れています。その能力を開花させるためには、食わず嫌いをせずに、何でも貪欲に学び、体験して、興味を持てるものを見つける努力が必要です。「好きこそものの上手なれ」：「能力」は「興味」とほぼ同意と言えるかもしれません。奈良高専では、ぜひ身につけて頂きたい正課授業の他にも、皆さんの能力を開花させる機会を増やすために、正課外授業や課外活動にも力を入れています。また、学生が「ひらめき」をいつでも形にできる「起業家工房」を設置し、デジタル技術を使ったものづくりを、学年・学科の垣根を越えて取り組める場や、気軽にグループディスカッションができる場を設けています。コロナ禍で中断していた国際交流プログラムや国際イベントも再開しましたので、ぜひ参加してください。高専全体で開催している体育大会やコンテストにも積極的に参加して、多くの経験をする中で、自分の「興味」や「嗜好」を発見してください。





新入生の声

新入生の皆さんに高専生活の感想を聞いてみました。

●入学式の宣誓者を務めて

機械工学科1年 山本 玲寧

今でも「なぜ私が選ばれたのだろうか」と思っています。けれども、選ばれたからには代表者らしく、これからの5年間のみんなの学生生活が充実したものになるよう、その始まりとして、しっかりと務めることができたと感じています。今日、機械工学科1年のみんなと、楽しい日々を過ごしています。それぞれが、好きなこと、興味のあることに全力で取り組んだり、互いにできること、できないことを補い合って協力したり。充実した学生生活をおくることができていると思っています。これからも、今日のような日々が続けられるよう、宣誓者としてできることを探していきたいと考えています。

●ラグビー部に入部して

電気工学科1年 松村 奏佑

今年、私はラグビー部に初心者として入部しました。部活見学をしていた時は、あまりに先輩方と歳が離れていたことやガタイの良さに圧倒されました。

部員の多くが経験者であるため、初心者として入部することに対してとても不安でした。しかし、年齢に関わらず、先生、OBや先輩の方々が優しく教えて下さり、ラグビーの面白さや難しさ、目標に向かってチーム一丸となって突き進むことの素晴らしさを、入部して間もないこの短い期間の間で感じることが出来ました。部活動中だけでなく日々の学校生活においても気さくに話し掛けて下さる先輩方には、感謝に堪えません。

これからもしんどいことが沢山出てくると思いますが、ラグビーで学んだ『人間力』を活かし、精神的にも肉体的にも強い人間になれるよう努力します。

●見つけたやりたいこと

電子制御工学科1年 岩崎 史芳

私はシステム開発研究会に所属しています。研究会ではプログラミングや電子工作など各々の好きなことをして活動しています。

私はこのシステム開発研究会に入りましたが、当初はやりたいこともなく何もせず過ごしていました。しかし先輩たちが活動しているのをこの目でみて、やってみたいと感じ、自分にも挑戦したいことができました。研究会には挑戦できる環境もアドバイスをしてくれる先輩だっています。この研究会だからこそ挑戦できるといえます。技術・知識不足で、まだなにもできないという焦りもありますが、少しずつでも一歩一歩着実に進んで行こうと思います。

●デジタル回路の実験を通じて

情報工学科1年 山口 紗音

情報工学科の1年次に、実験を行う科目として「デジタル回路」があります。この科目は、初めての専門科目の実験ということもあり、これまで触った経験のない機材やわからないことが多く苦労しました。

印象に残った内容として、「ICやスイッチを使って、論理回路の動作をLEDの点灯によって確認し理解する」というものがありました。最初は、回路図の描き方や動かなかった時の調べ方などが理解できず、挫折しそうになりました。でも、先生や技術職員の方、先輩や友人に聞いたり相談したりして、なんとか乗り越えることができました。このような実験を通じて、専門科目の面白さを知るとともに、わからないところを恥ずかしがらずにわからないと意思表示することと人に聞くことの大切さを学びました。

まだ高専生活は始まったばかりですが、この経験を活かしていきたいと思っています。

●高専生としての新しい生活

物質化学工学科1年 沼波 侑良

前期の間の化学では、中学生の時の発展や、今まで見たことの無い単位での計算など難しいものもありましたが、先生の教えもあり、段々と慣れることが出来ました。今は、前期に行った化学の座学授業に加え、後期から始まる実験授業がとても楽しみです。また、私は普段C科での勉強以外で様々なプログラムへ取り組んでいます。そこでは、将来自分にとって貴重で新鮮な経験が沢山できているなど日々感じています。具体的に、入学から夏休みの間では、GECEPというプログラムで派遣留学生の方との交流や、高専女子フォーラムというイベントに参加し、C科での生活について発表を行う機会がありました。普段の数学や化学などの勉強との両立は大変ですが、全ての事に積極的に取り組むことを心がけています。





●社会工場見学

物質化学工学科2年 竹縄 七海

10月11日に行われた社会工場見学で2年物質化学工学科は、ロート製薬と日東電工の二つの会社に行きました。ロート製薬では、目薬の工場や研究所を見せてもらいました。印象に残っているのは、研究所が学校の設備よりも豪華で綺麗だったことです。機械に果物などの名前をつけて親しみやすくしているのも印象的でした。お昼は公園で皆、楽しい時間を過ごしていました。日東電工では高専出身者の方とお話ができ、お金のことや部署の異動のことなどリアルな話を聞くことができました。働いている方々が楽しそうで、このような会社で働きたいと思いました。普段、専門科目で学んでいるだけではできない将来のことが想像できて、とても良い経験になったと思います。

●もとに戻り始めた学生生活

情報工学科3年 升岡 瑞葉

コロナによる制限が緩和され、今年はさまざまな行事がコロナ前の形式で行われた。その一つに、国際交流がある。オンラインで交流していたが、今年是对面で実施することができた。香港、シンガポールの生徒と実際に会って、奈良高専を案内したり、京都に行った。文化の違いや普段どんな勉強をしているのかをおしゃべりできて、本当に楽しい時間だった。相手が帰国した後も連絡を取り合うくらい親交を深められた。次に会えた時に、もっとたくさん話ができるように、自分の思っていることを伝えられるように、英語の勉強を頑張りたい。



●男子高専生の日常 ~俺とゆかいな仲間たち~

電子制御工学科4年 速水 鴻

私は、中学生からロボコンに興味があり2019年の飛鳥の試合をTVで観て、大阪から登校に2時間かかって強豪校の奈良高専でロボコンがしたいと思い、奈良高専に入学しました。その情熱が実を結び、2022年度大会では全国優勝することができました。

また、クラス委員長を4年間務めて思ったことは、4Sは個性派揃いですが、皆協力的でまとまりがあり、お互いを尊重し合えるクラスだということです。春季スポーツ大会では一丸となって優勝しました。休み時間にも毎日グラウンドで小学生のようにサッカーボールを追いかけて回っています。

このゆかいな仲間たちで残りの一年たくさん思い出を作っていきたいと思っています。



●奈良高専で出会った第2の家族

電気工学科5年 バトエルデネ シジルバト

私は石飛研で非接触給電の研究をしています。研究室オリジナルの技術が多く、最初、先輩たちが何年もかけて積み上げてきた先行研究の理解に苦労しました。けど、先輩たちと議論を重ね、うまく引っ張ってもらい、10月にあった中間報告会(ポスター発表)では、来てくれた学生や先生に研究の面白さを伝えられ、とても嬉しかったです。皆で遊びに行ったり研究したり、母国から離れている私にとって、研究室の先輩、同期や先生がまさに家族です!

皆のおかげで楽しく研究できているので、もっと面白い成果を出していきたいです。



●奈良高専での生活について

専攻科 システム創成工学専攻
機械制御システムコース2年 中山 和紀

私は卒業研究として樹脂や金属を材料にした3Dプリンタでのものづくりをテーマに活動しています。奈良高専の中での授業や部活動を通して設計や製作、それに必要な道具の扱い方を学びました。そしてそれを活かす方法として、専攻科進学時には研究テーマに金属3Dプリンタなどの最新設備を活用したものづくりを選びました。設計や製作について学んだことはそのまま研究に活用し、また学んだ道具の扱いは装置のメンテナンスに活かしています。奈良高専では3DCADや3Dプリンタ等のデジタル機器がとても充実した環境のため、学んだことを実践し経験することができ、より成長できたと感じています。



学生の活躍

令和5年度 全国大会など



剣道部

全国大会について

機械工学科4年 吉松 蒼唯

私たちは、8月に千葉県千葉市で開催された第58回全国高等専門学校体育大会に出場しました。昨年度、悔しい思いをした全国大会、「次は必ず入賞する」その気持ちをバネに1年間、稽古を重ねてきました。地区大会終了からの1ヶ月は、期末試験などの行事で日々疲れ、また前年度の初戦敗退を思い出し、焦りも感じていました。疲弊した中で支えてくれたのは、日々ひたむきに稽古に励む後輩部員の姿でした。そして全国大会では、女子団体の部で3位入賞することができました。大会終了まで支えてくれた剣道部員、保護者の皆様、そして顧問の先生方に心より感謝申し上げます。



機械研究会

全国高等学校鉄道模型コンテストに参加して

物質化学工学科3年 喜多 秀逢

機械研究会は8月に開催された「第15回全国高等学校鉄道模型コンテスト全国大会」において、モジュール部門で「審査員特別賞」を、HO車輛部門で「奨励賞」を受賞しました。モジュールは近鉄志摩線をモデルとして制作し、鳥羽水族館などの特徴的な建物や、鳥羽城跡を再現しました。HO車輛は「近畿日本鉄道8800系」を制作し、床下器機など細部まで作りこみました。今年は例年に比べ大会の開催時期が早く制作期間が短くなりましたが、顧問の先生方や部員の皆さんの協力で無事に完成させ、賞を受賞することができました。ありがとうございました。



陸上競技部

2023年度全国高専大会(陸上競技)出場について

電気工学科4年 笹川 航平

私達陸上競技部は、8月26日、27日にデンカビックワンスタジアムで行われた全国高専大会に男子7名、女子7名が出場しました。今大会に至るまで、短距離や長距離などの垣根を超えた様々な種目への挑戦、そして学年を越えての協力、競い合いによって、各々の実力を高めてきました。結果としては、1種目で準優勝、1種目で入賞、という結果を残すことができました。来年は今年よりもさらに良い結果を残せるように、そして多くの選手が全国高専大会の舞台に立てるように日々の練習に一杯取り組みたいと思います。また、支えてくれた方々によってこの舞台に立つことが出来たので、その方々に対する感謝の気持ちも忘れずに、これからも頑張っていきたいと思います。



将棋部

第30回全国高等専門学校将棋大会について

電子制御工学科3年 仙入 汐夏

私は岐阜県で開催された「第30回全国高等専門学校将棋大会」に出場しました。今年は女子個人戦に奈良高専から私を含め3人が参加しました。そしてそこから決勝リーグに2人も進出することが出来ました。私が将棋部に入った一年生の頃、女子が私だけだったところから、勧誘をしたり部活動についてのポスターに力を入れたりしていたので、将棋に興味を持ってくれた人と一緒に大会で結果を残せたことをとても誇りに思います。そして、全国大会に出場したことで他高専の方々との交流や指導対局など、とても有意義な機会を得ることが出来ました。



令和5年度(前期)学生表彰<特別賞>

電子制御工学科3年 仙入 汐夏

第30回全国高等専門学校将棋大会
女子個人戦 第2位

物質化学工学科3年 奥田 陽美

第58回全国高等専門学校体育大会
陸上競技 女子100m 第2位

※特別賞は全国大会またはこれに準ずる大会において、優勝または準優勝した個人または団体に授与されます



ロボコン2023近畿地区大会

Aチーム 電子制御工学科3年 安藤 耕太郎

10月8日高専ロボコン2023近畿地区大会が開催されました。私は、Aチーム「杏(からも)」のリーダーとして参加しました。

今年度の高専ロボコンのテーマは「もぎもぎ!フルーツGOラウンド」。フィールドに設置された角材やロープといった障害物を乗り越えながら、フルーツに見立てたボールを回収します。

私たちは、予選リーグ1、2戦目ともにロボットにトラブルが発生したものの、なんとか決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメントは、準決勝でもトラブルが発生し、そこで敗退してしまいました。

私たちは、全国大会優勝を目指して1年間活動していました。今年度は全国大会に出場することすらできず、チームの全員が悔しい思いをすることになりました。しかし、その悔しさをばねにしてチームの団結力は高まり、現在も来年度の大会に向けて準備を進めています。これからも、応援よろしくをお願いします。



Bチーム 情報工学科1年 前越 大和

私たちは奈良高専Bチームとして、「ロボコン2023近畿地区大会」に出場しました。今回はフィールドに吊るされたフルーツを収穫してスタート地点に戻ってくるという競技でした。Bチームは「襲角」という機体名で、プロジェクト名は優れもんという意味と、フルーツのレモンをかけて、「すぐレモン」でした。見た目は鹿をモチーフにしており鹿の角を模した収穫機構が伸びたり縮んだりしてフルーツを回収します。私たちは一年生だけで構成されたチームで、知識や経験が全然ない状態でのスタートでした。しかし、先輩方のサポートや、各々が自分のやるべきことを全力でやり遂げてくれたおかげで、本番では一勝することができ、さらに特別賞も貰うことができました。残念ながら二回戦目でトラブルにより負けてしまいました。今回の失敗を生かして私たち一年生はもっと強くなります。これからも奈良高専ロボコンプロジェクトの活躍を期待してください!



情報処理学会で専攻科生が研究奨励賞受賞

情報処理学会ソフトウェアエンジニアリング
シンポジウム2023にて研究奨励賞

専攻科 システム創成工学専攻
情報システムコース2年 吉岡 春彦

この度は、このような栄誉ある賞を受賞できたこと、大変光栄に存じます。

「練習は本番のごとく」という言葉がある通り、本番では練習の成果を出し切ることができたと思っております。特に、添削・発表練習に付き合っていたいただいた指導教員の上野秀剛先生、発表練習に協力してくれた友人に、深く感謝いたします。

シンポジウムへの参加を通じて、図の作り方、内容の組み立て方、発表の仕方など、さまざまな学びがありました。また、質疑応答に関する自身の課題も明らかになりました。

今回得た学びを元に、今後も精励する所存にございます。



イオンモール大和郡山との包括連携協力

イオンモールでつなぐ未来のエンジニア

電子制御工学科5年 堀内 優希



8月11日、本校とイオンモール大和郡山との包括連携協力に関する連携覚書が締結され、地域創生や理系教育の振興、地域産業の発展に寄与する取り組みが始まりました。私たちは

最初のプロジェクトとして、ロボットづくりとプログラミングの体験イベントを開催しました。体験イベント用のテキスト作成から当日のサポートまでを担当し、参加者の「楽しかった」という声と眩いほどの笑顔と共に幕を閉じました。参加者の中には高専への憧れや進学を志す方が多く見られました。かつて私も小学5年生のときのイオンモールでのイベント参加を契機に奈良高専の門をくぐったひとりです。この連携とイベントが未来のエンジニアを目指すきっかけとなることを願っています。



学生会新役員紹介・活動方針

学生会会長：橋本 真悟(電気工学科3年)

学生とは、様々な知識を蓄え、様々な経験で人格を形成していく者だと考える。その知識と経験を自分の糧とし、さらに、人の能力を見て真似て自分のものに。私には何もできない。何もできないからこそ今この瞬間、様々な能力を身につけることができる。そのために会長になろうとした。失敗は怖い。けどそれよりも、自分の成長が楽しみで仕方がない。

学生会副会長：田中 智也(機械工学科3年)

様々な巡り合わせと運で今の役職に就かせていただき、自分自身も驚いています。縁の下の力持ちとして皆様の学校生活がより彩りのあるものになるよう全力で頑張らせていただきます。

学生会副会長：永田 侑莉(物質化学工学科1年)

副会長に就任しました、永田侑莉です。わからないことだらけで不安もありますが、自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

学生会会計：服部 日向(電子制御工学科3年)

会計に就任しました、服部日向です。3年生から学生会に入り、わからないことばかりですが、全力をもって学生会及び学生の皆様を支えていきます。よろしくお願いします。

学生会会計：岩川 一平(物質化学工学科1年)

会計に就任しました、岩川一平です。1年生で分からないことがたくさんありますが、できる限りのことを頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

学生会書記：北代 翔大(電子制御工学科2年)

この度書記に就任しました、北代翔大です。初めてのことも多いですが、書記として学生会を支えていけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

学生会書記：鳥羽 己瑳生(機械工学科1年)

この度書記に就任しました、鳥羽己瑳生です。1年生なのでわからないことも多いですが、学生の皆さんが楽しく高専生活を楽しめるように支えていけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



クラブ・同好会紹介 vol.28

体育部	文化部	同好会
アーチェリー 合気道 弓道 剣道 硬式テニス 硬式野球 サッカー 柔道 少林寺拳法 水泳	ソフトテニス 卓球 バスケットボール バドミントン ハンドボール バレーボール ラグビーフットボール 陸上競技	からくり 機械研究会 軽音楽 茶道 システム開発研究会 将棋 情報処理研究会 吹奏楽 美術 放送
		化学同好会 合唱同好会 クイズ研究会 現代視覚文化研究会 手芸同好会 生協学生同好会 数学同好会 電気技術研究会



水泳部

機械工学科3年 橋本 琳

こんにちは、奈良高専水泳部です！

水泳部は、春から夏の終わりまで週5日間(水・日お休み)、春が来るまで週4日間(水・土・日お休み)活動していて、オフシーズンも陸トレだけでなく学外の温水プールを使ってトレーニングをしています。先輩後輩の垣根を越えて部員同士仲が良く、楽しくにぎやかな部活です。

私達は、7月の近畿高専大会とその先の全国高専大会を目指して、種目ごとのメニューをベースに泳法指導やダイブ練習等を織り交ぜ、仲間と高めあいながら練習しています。「トレーニングも遊ぶときも全力で」をモットーに、メリハリのある活動をしています。

経験者・未経験者問わず興味があれば大歓迎です。あなたも水泳部と一緒に青春しませんか？



吹奏楽部

電子制御工学科2年 池上 莉加

こんにちは、吹奏楽部です。私たちは音楽を楽しむことを第一としており、現在男子8名、女子12名の計20名で活動しています。毎年夏頃にある定期演奏会と11月の高専祭、3月末にある関西高専吹奏楽部合同演奏会に向けて日々練習しています。時には地域イベント等での演奏を依頼されることもあり、充実した音楽活動を送っています。兼部している仲間も多く、両立できる雰囲気です。普段から部員同士の会話が長く、和気あいあいと練習に励んでいます。

吹奏楽の魅力は仲間と共に音楽を創りだすことです。意見をぶつけ合いながらもお互いを尊重し、一つの演奏を完成させます。学年の壁を越えて楽しめる魅力ある部活ですので、ぜひ合同教室を覗いてみてください！





グローバル教育センターから

国際交流プログラムに参加して

電子制御工学科3年 神元 詞結

私は、GECEP履修生としてシンガポールのNanyang Polytechnic, Republic Polytechnic, 香港のHong Kong IVEの学生との交流プログラムに参加しました。また、明石高専で開催されたKOSEN Global Campにも参加しました。

奈良高専での交流プログラムでは、お互いの文化についてプレゼンテーションをした後、奈良や京都、大阪をシンガポールや香港の学生と一緒に観光しました。街中を歩いている最中に思わぬところでシンガポールや香港と、日本の文化の違いについて気付いて話をする事ができ、勉強になりました。すべて会話は英語なので自分の知っている単語や文法を咄嗟に口に出す能力を養うことができました。

Hong Kong IVEとの交流プログラムでは、SDGsの中の与えられた1つのGoalに対して日本と香港での取り組みをプレゼンテーションするというものがありました。自分の国で問題になっていることを言っても、相手の国の人にはあまりピンと来ないということがあり、それぞれの背景の違いを感じることがありました。

明石高専でのKOSEN Global Campでは明石高専の寮に10日間宿泊し、防災やプロダクトデザインの学習を海外の学生と一緒にやったあと、防災に関する製品のアイデアをグループで構築し、最後の日にプレゼンテーションをしました。

その中で私は英語で議論することの難しさについて学びました。英会話において、英語力が乏しくても積極性があれば良い、という意見をよく耳にしますが、議論となるとそのような見ではいけません。実際に、私のチームでは、複数の意見が出た時、意見を発した人が説明に用いた絵やスライドの

美しさ、意見の聞こえの良さやその場の雰囲気、でチームの意見が一つに選ばれてゆきました。その結果、チームとして自分たちの意見に対する利点欠点が見えずに甚だ盲目的なアイデアが形成されました。本当は、チームで決定しそうな事項に対して空気を読まずに批判的な意見を言い、メンバーを冷静にさせる人がいないといけません。しかし、私には製品のアイデアに対して、ユーザーの需要や人間の価値観などといった深い次元において英語で批判しメンバーを納得させる自信が持てずに、話を切り出せませんでした。キャンプを終えて、この乏しい英語力では海外で働けないと痛感し、一層英語学習へのモチベーションを高く持つことができました。

これらのプログラムを通して以前よりも英会話の能力の向上を感じ、海外の学生と楽しく雑談をすることができました。しかし、留学や海外で働くとなるとまだまだ英語力が足りないと感じ、もっと英語を勉強しないといけないと感じました。



留学生自己紹介



情報工学科3年
ポット

チャムラウン セイレイ ボット
CHAMROEUN SEREY BOTT

こんにちは、カンボジアから来た留学生です。ポットと申します。奈良高専に来る前に、東京日本語教育センターで1年間日本語を勉強しました。最初、日本語が全然できなかったが、1年間勉強して、日本語能力試験に合格して奈良高専に進学しました。

情報工学科を選んだ理由は、この分野が将来とても重要になるかもしれないと思ったからです。また、カンボジアでもこの分野が急速に成長しているので、私も日本の学校を卒業して、それに貢献したいと思います。

これから奈良高専で勉強して、様々なことを勉強して、たくさんの日本人の友達も作りたいです。これからよろしくお願ひします。



物質化学工学科3年
フラン

ボルフ フラン
BORKHUU KHULAN

こんにちは、モンゴルから来た留学生のフランです。中学生の頃から、海外留学を将来の夢として一生懸命勉強してきた私、奈良高専で日本人の皆さんと一緒に勉強する機会が与えられて嬉しいです。日本に来て、日本人と日本文化から習うことが多くて、もっと勉強して、新しいことたくさん経験しようと決めました。まだ日本語の能力が低いので友達を作ったり、自由に会話をしたりできないけど、高専にいる間に絶対上手くなると思います。

物質化学工学科を選んだ理由としては、もともと文系より理系の方に興味があって、だんだんレベルが上がってきた時、物の成分、物質と化学への興味が深くなったからです。今から身につけていく知識や実力が将来の私に大変役に立つと思います。

これから3年間よろしくお願ひいたします。





しなやかエンジニア教育プログラム ～「五感」を通して感性と表現力を学ぶ～

女性エンジニア養成推進センター長 顯谷 智也子

「しなやかエンジニア教育プログラム」は、工学とは異なる分野の学びを通して物事を様々な角度から捉え、新たな価値を創造するための「感性」と、それを形にする「表現力」を養う正課外プログラムとして開講して、本年度5年目を迎えました。現在学年・学科を超えて総勢90名の学生が受講しています。

本年度は、本校の美術担当 宇野陽一先生の協力のもと、「五感」をテーマとして、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚を通して感性と表現力を養う講義を、5年生向けに実施しました。講義では、それぞれの五感に特化した専門性の高い方々を講師としてお招きして、味覚では「日本茶の味くらべ」、聴覚では「音の共鳴による感情コミュニケーション」、また嗅覚では奈良の伝統工芸である墨職人による「墨作り」などを実施しました。学生は、普段の授業はもとより一般的にもなかなか経験できない稀有な機会を持つことができました。また、これらの五感の講義を経て、その後5週にわたって、身近な商品に対して顧客視点で課題を見つけ、「五感」を駆使して解決策を導き出し、プロトタイプサンプルを制作するデザイン思考を取り入れた演習を行いました。

今回の授業を通して、五感などの異分野の学びが、学生の思考や発想の幅を広げてくれたものと確信しております。受講生(5年生)の声を紹介します。



五感を使って解決策を導き出す演習の様子

物質化学工学科5年 中村 風花

五感に関する講義では、舌で味わうだけでなく匂いを感じることで見た目ではわからなかった違いが明確になることや、目で見るだけでなく実際に触れて音を聞くことで想像していなかった発見があることを知りました。製品開発の際にはただ便利なものや新しいものを作るだけでなく、もっと楽しくて使いたいと思ってもらうにはどうすればいいか、といった今までより一段階踏み込んだ考え方が出来るようになりました。これらの学びを今後に活かしたいです。

物質化学工学科5年 堀田 壮馬

しなやかエンジニア教育プログラムでは座学だけでなく、普段体験できないような講義や経験を様々な企業の方々から教えていただけるので、「五感」について理解を深めることが出来ました。また受講後にテーマに対して五感から考えられる課題を、グループディスカッションを行い問題点や解決策を見つけ話し合うことで、問題に対する課題解決策を導き出す力を養えました。今後五感で感じた視点から問題点や改善点、新しいアイデアの発案へと繋げていきたいです。



学生支援センターから

カウンセラーだより

<青年期について>

カウンセラー
(臨床心理士・公認心理師)
栢尾 順子



令和5年4月から成年年齢が引き下げられ、今まで以上に18歳以降、大人としての自覚や判断力が求められるようになりました。

18歳を挟んで、高専で過ごす5年間は、ご自身の土台を作るために、人生のさまざまな心の課題に取り組む時期に当たります。思春期では、それまで当たり前のように受け入れてきたこと、親や周囲の大人の考えを一旦は否定してみるところから、次第にご自身の

価値観、考えの土台を作り上げていくことになります。

親との関係にも変化が生まれ、依存したい気持ちと自立に向かおうとする自分との間で揺れ動くことになります。時として非常に苦しいプロセスを乗り越えていくために、必要があれば相談を受けて、現実を共有したり、気持ちに寄り添うことなどとともに、「あなたは どう思う?」という問いかけが、巣立ちの手がかりになるのかもしれない。

学生支援センター(学生相談)
Webページ

<https://www.nara-k.ac.jp/life/shien/soudan/>



命の洗濯

学生支援センター長 伊月 亜有子

「よく学びよく遊べ」という言葉を一度は聞いたことがあると思いますが、「どちらかに偏ることなくバランス良く挑むことが大切」という意味です。この言葉どおり、勉強や実験・実習、卒業研究だけでなく、クラブ活動、アルバイトや遊びなど様々なことに挑戦し、忙しく過ごしている人も多いかと思いますが、しかし、時には「少し疲れたな、静かに過ごしたいな、ほっと一息つきたいな」と感じることもあるのでは…。そんな時には、教室とは違う場所で、ゆっくり過ごすスペースとして「学生支援ルーム」を利用してみてはいかがでしょうか? 「命の洗濯」をしてみてもいかがですか? 命と心の洗濯をしに気軽に立ち寄ってください。スタッフとお話することもできますよ。

支援ルーム 総合情報棟1階



月曜日～水曜日 9:00～17:00
木曜日 10:30～14:00





Library News

図書館と主な関連行事を紹介します

ブックハンティング (6月・11月)

学生図書委員を中心に、各クラスで希望図書を募り購入する活動です。今年の6月は4年ぶりに実際に書店に出向き購入しました。購入した図書は1階奥の特設コーナーに並んでいます。



飲食禁止

令和5年10月から、図書閲覧室1・2階、ラーニングcommons及びFABスペースを「飲食禁止」としていただきますので、飲食はピロティ等でお願います。

ラーニングcommons

授業や行事等で利用の場合を除き、平日8時30分から17時まで自由に利用できる図書館棟1階のフリースペースです。



図書福袋

学生図書委員等が選定した図書を袋に入れ、ヒントとなるメッセージとともに飾り付け中身が見えない状態で貸出をします。



2階の自習スペース

図書閲覧室2階の自習スペースを再開しています。



読書感想文コンクール

夏休みに低学年を中心に実施しています。最優秀賞・優秀賞に選ばれた感想文は全文図書館だよりに掲載されます。佳作以上の受賞者には表彰状・図書カードの副賞が贈られます。

多読表彰

年末に貸出冊数の多いクラスおよび個人を確定し、1月に表彰します。個人多読賞上位10名には表彰状・図書カードの副賞が、貸出上位5クラスには表彰状・図書購入権の副賞が贈られます。

利用時間の変更

平日の利用時間がこれまでの20時から「19時45分」に変更していますのでご注意ください。ただし、土曜日はこれまで通り「9時から16時30分」です。

雑誌の再開

雑誌の購入を再開しました。現在の排架状況は次ページの「雑誌一覧」の通りです。



機械の研究	機械設計	金属	工業材料	月刊天文ガイド
電気計算	トランジスタ技術	別冊トランジスタ技術Special	日経サイエンス	別冊日経サイエンス
化学	現代化学	現代数学	日経NETWORK	日経トレンドィ
週刊ファミ通	CQ ham radio	I/O	Interface	Software design
Newton	TIME	National geographic	Motor fan illustrated	Motor magazine
Number	musica	Otomedial	音楽と人	バンドジャーナル
鉄道ジャーナル	藝術新潮	将棋世界	旅の手帖	暮らしの手帖
キネマ旬報	文藝春秋	ダ・ヴィンチ	NHKきょうの料理	オレンジページ
アニメディア	Can cam	Vivi	うさぎと暮らす	ムー

学生図書委員会の活動報告

奈良高専の「図書館」～隙有自語～

図書委員会委員長 情報工学科4年 村上 拓也

はじめまして。2023年度図書委員会委員長の村上です。

みなさんは「図書館」といってどんな図書館を思い浮かべるでしょうか。よくある文庫や小説などの蔵書が多い図書館を思い浮かべるのでしょうか。

私事になりますが、先日私は全国高専プログラミングコンテストの課題部門において本選に出場しました。ロボコンやプロコンでは当然開発期間があり、製作物の開発を行うことが主な作業になります。今回のプロコンでは私たちのチームではUnityを使用したのですが、扱い方を知っている者がおらず、全員一からの開発になりました。

今の時代、インターネットを使えば簡単に使い方や情報はすぐに集まります。しかし、ややこしいことにアプリケーションのバージョンや、OSなど、条件が違えば求めている情報を引き出しにくいことがよくあります。今回のプロコンでは、私自身高専内にある様々な参考書をひたすら読み進めることで理解を進めていきました。

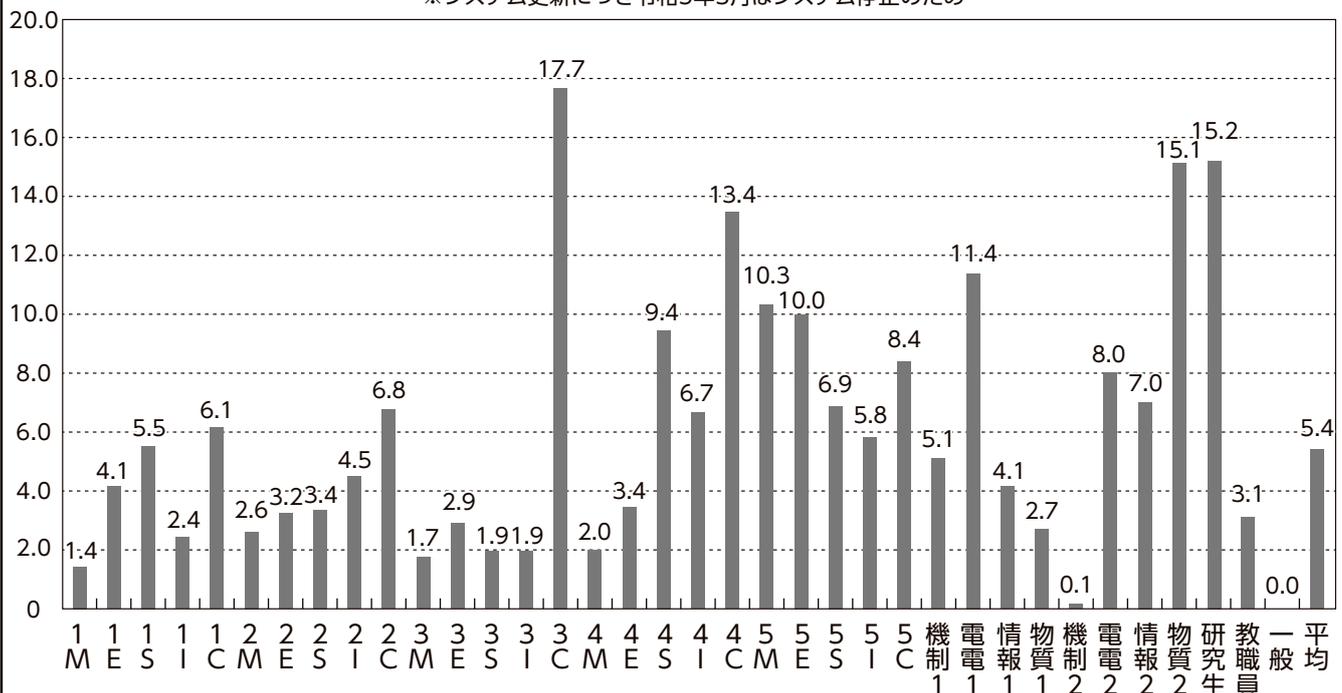
このようなことから、奈良高専の「図書館」はもちろん著名作家や気になっていた作家の著書が読めたりと、よくある「図書館」のような性質もありますが、それ以上に本科、専攻科問わず、調べたい、研究したい事柄に近い専門書なども多くそろっています。コンテストに出場しようと思っている方、あるいは専門分野に興味があって調べたい方などは是非一度足を運んでみてほしいと思います。

こんな私の近況報告に宣伝を少し添えたような長くつたない文章になりましたが、最後までお読みいただきありがとうございます。おまけの宣伝です。年末に例年通り福袋プロジェクトを行いますので、本が好きな方は是非足を運んでみてください。

クラス別一人当貸出冊数(令和4年4月～令和5年2月)*

合計冊数6,847冊

*システム更新につき令和5年3月はシステム停止のため



高専祭について



高専祭実行委員長 電気工学科4年 小川 弘登

高専祭実行委員会実行委員長の小川弘登です。今年度の高専祭では4年ぶりの対面開催となりました。4年ぶりともなれば、高専祭実行委員には対面開催を経験した者がほとんどいなかったためノウハウがない状態からのスタートでした。そのような状況の中で高専祭を開催できたことを大変嬉しく思っております。また、2日間で3000人を超える方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

コロナ禍であった昨年までオンラインでの開催が続いていたため、学生の皆様から対面開催への期待の声が多く上がっていました。そこで学生の皆様を含めたご来場者の皆様楽しんでいただくことを今年度の高専祭を運営する上での第一の目標とさせていただいております。十分に配慮が至らなかったこともあったかと思いますが、大きなトラブル等なく無事終えることができ、皆様にも楽しんでいただけたのではないかと考えております。その背景には、高専祭の準備を始めた頃からの高専祭実行委員、教職員、学生、地域の方々などのたくさんの方々の協力が長きにわたってございました。今回の高専祭を無事終えることができたのも協力していただいた皆様のおかげであると考えております。たくさんの方々によって高専祭が成り立っていることを再認識させていただきました。本当に感謝の気持ちしかありません。

コロナ禍であった昨年までオンラインでの開催が続

もう一つの目標として、高専祭の更なる発展につながる引き継ぎを行うということを掲げております。こちらはこれからの話になりますが、ノウハウがない状態から皆様の協力を得て作り上げた高専祭を来年度以降より良いものにしてもらえるように必ずやり遂げる必要があると考えております。高専祭が終わって一息つきたいところですが、高専祭を経験したことがない学生でもスムーズに高専祭実行委員として活動できるような資料作りを心がけていきたいです。

繰り返しのなってしまいますが、地域の皆様も含め、本当にたくさんの方に支えられて高専祭をやり切ることができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。関係者の皆様、様々な形でご支援、ご協力いただき誠にありがとうございました。皆様のご協力のおかげで、私自身も高専祭に携ってとても楽しむことができました。来年も皆様楽しんでいただけるよう、高専祭実行委員一同全力を尽くしますので、是非ご協力のほどお願いいたします。



学生課窓口 のご案内

～保護者の皆様へ～

教務係 0743-55-6033

授業、定期試験、教科書、学籍異動(休学・復学・退学・卒業)欠席・忌引・公欠・出席停止、大学編入学、専攻科、インターンシップ、学生証、住所・保証人等変更、在学・成績証明書 など

学生係 0743-55-6034

奨学金、高等学校等就学支援金、授業料等の免除・徴収猶予、課外活動、コンテスト、自転車・単車通学、免許、学割、通学証明書、就職 など

入試係 0743-55-6032

入学試験、体験入学、入試説明会、研究生・聴講生 など

寮務係 0743-55-6035

寮生の生活、寮の諸経費、在寮証明書 など

保健室 0743-55-6172

保健衛生、カウンセリング相談予約、学生生活での怪我の保険 など

学生関係の担当窓口は次のとおりです。用件により該当する係の電話番号へ直接お問い合わせください。受付時間は平日8時30分～17時です。学生の呼び出しや伝言は行いませんので、あらかじめご了承ください。

キャンパスメンバーズ制度 是非ご利用ください

本校では、奈良国立博物館との連携による「キャンパスメンバーズ制度」を導入しています。

学校と国立博物館が連携を図ることによって、文化や歴史を学ぶ場や機会を提供すること、世界遺産や美術に親しむ機会を増やすことで、より豊かな教養と感性を身につけていただくことを目的としています。

本校学生・教職員が学生証・職員証を提示することで、以下の特典を受けることができますので、是非この制度をご利用ください。

- 平常展・特別陳列の無料観覧
- 特別展の観覧料金割引 など

特別陳列「おん祭と春日信仰の美術 一特集 春日の御巫一」
会期：令和5年(2023)12月9日(土)～令和6年(2024)1月14日(日)

※本イベントについては学生及び教職員は無料で観覧できます。

編集後記

芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、実りの秋となりました。今回のCAMPUSでは、高専祭、近畿・全国高専大会、ロボコン、図書館活動などにおける学生の皆さんの活躍とともに、新入生の声、本科2年生から専攻科生までの在学生の声を紹介しています。普段の奈良高専生の日常を少しでも感じていただけると嬉しく思います。

奈良高専広報センター

CAMPUS について

本校では、広報誌「CAMPUS」を11月と3月の年2回発行し、在学生の保護者の方々へ送付しています。また、「CAMPUS」は本校ホームページ(トップページ>学生生活>CAMPUS(広報誌))にも掲載しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。